

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第1部門第2区分  
【発行日】令和5年10月3日(2023.10.3)

【公開番号】特開2022-17999(P2022-17999A)  
【公開日】令和4年1月26日(2022.1.26)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-014  
【出願番号】特願2020-120914(P2020-120914)  
【国際特許分類】  
A 6 3 F 7/02(2006.01)  
【F I】  
A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

10

【手続補正書】  
【提出日】令和5年9月25日(2023.9.25)  
【手続補正1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項1】

20

画像を表示可能な表示手段を備え、  
遊技者にとって有利な特別遊技状態を有しており、  
特別遊技状態の種類に関する履歴画像を表示手段にて表示可能であり、  
特定の条件を満たした場合、履歴画像と特別遊技状態の発生回数に関する回数表示とが表示手段に表示され得るよう構成されており、  
履歴画像と回数表示とが表示手段に表示されている状態では、特別遊技状態にて表示される背景画像とは異なる所定の背景画像が表示されるよう構成されており、  
所定のエラー状態となっており、前記所定のエラー状態に対応する所定のエラー画像が表示手段に表示されている状況において、履歴画像と回数表示とが表示手段に表示されている場合を有しており、  
表示手段にて前記所定のエラー画像と履歴画像と回数表示とが同時に表示されている状態で電源供給が遮断され、その後、電源復帰した場合には、電源供給が遮断される前に表示手段に表示されていた履歴画像と回数表示とは表示されず、前記所定のエラー画像は表示され得るよう構成されており、  
付与される遊技価値数と使用される遊技価値数との差数に関する情報を記憶可能であり、前記差数に関する情報が所定数に到達した場合には、遊技価値の獲得を抑制するための制御が実行される状態である抑制状態となるよう構成されている  
ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0005  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0005】

本態様に係る遊技機は、  
画像を表示可能な表示手段を備え、  
遊技者にとって有利な特別遊技状態を有しており、  
特別遊技状態の種類に関する履歴画像を表示手段にて表示可能であり、

50

特定の条件を満たした場合、履歴画像と特別遊技状態の発生回数に関する回数表示とが表示手段に表示され得よう構成されており、  
履歴画像と回数表示とが表示手段に表示されている状態では、特別遊技状態にて表示される背景画像とは異なる所定の背景画像が表示されるよう構成されており、  
所定のエラー状態となっており、前記所定のエラー状態に対応する所定のエラー画像が表示手段に表示されている状況において、履歴画像と回数表示とが表示手段に表示されている場合を有しており、  
表示手段にて前記所定のエラー画像と履歴画像と回数表示とが同時に表示されている状態で電源供給が遮断され、その後、電源復帰した場合には、電源供給が遮断される前に表示手段に表示されていた履歴画像と回数表示とは表示されず、前記所定のエラー画像は表示され得よう構成されており、  
付与される遊技価値数と使用される遊技価値数との差数に関する情報を記憶可能であり、前記差数に関する情報が所定数に到達した場合には、遊技価値の獲得を抑制するための制御が実行される状態である抑制状態となるよう構成されている  
ことを特徴とする遊技機である。

10

< 付記 >

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係るぱちんこ遊技機は、

20

遊技球が入球可能な主遊技始動口と、  
所定の入球口に取り付けられ、開放状態及び閉鎖状態に変位可能な可変部材と、  
閉状態と開状態とを採り得る可変入賞口と、  
可変入賞口に入球した遊技球が入球し得る特定領域と、  
主遊技識別情報を表示可能な主遊技識別情報表示部と、  
主遊技始動口への入球に基づき、主遊技情報を取得する取得手段と、  
変動表示開始条件が充足した場合に、取得手段が取得した主遊技情報に基づいて、可変入賞口開放遊技を行うか否かの判定を行う特別遊技判定手段と、  
取得手段が取得した主遊技情報に基づき、主遊技識別情報表示部にて主遊技識別情報を変動表示させた後で停止表示するよう制御する主遊技識別情報表示制御手段と、  
主遊技識別情報表示部にて主遊技識別情報を変動表示させた後で停止表示するよう制御し、主遊技識別情報が特定態様の停止表示態様にて停止表示された後、可変入賞口を有利な状態とし得る可変入賞口開放遊技を実行可能であり、可変入賞口開放遊技の実行中に特定領域に遊技球が入球した場合には、可変入賞口開放遊技の終了後に特別遊技を実行可能である特別遊技制御手段と  
を備え、

30

可変部材の開放容易性に関する遊技状態として、通常遊技状態と、通常遊技状態よりも可変部材が開放し易い特定遊技状態とを有しており、

主遊技識別情報の変動表示開始から停止表示までを一単位とし、一単位が特定回数行われることを契機として特定遊技状態となり得よう構成されている  
ことを特徴とするぱちんこ遊技機である。

40